



凧よ 舞い上がれ (6年生)

大通小学校



～ 凧作りを名人さんから学ぼう ～

大通小学校は、新潟県無形民俗文化財である「白根大凧合戦」の子どもの部に毎年参戦しています。凧は忠臣蔵の大石内蔵助の息子、「大石主税」です。この凧の誕生から携わってくださっている「凧名人」の方から、凧作りや、凧合戦のサポートをしていただき、凧への熱い思いを学びます。

「しろね大凧と歴史の館」の関根館長さんから、白根の大凧の歴史や特徴、日本と世界各地の凧について学びました。言葉は分からなくても、世界の誰とでも凧揚げでつながることができることが分かりました。

私たちの自慢 凧名人さん

白根の凧絵師風間正雄さんから、白根の凧の色付け「縁取り」を教えていただきました。太陽の光を浴びると鮮やかに発色し、顔が立体的に見える効果があります。



和凧作りの名人さんから、凧の仕組みと共に作り方、よく揚がる揚げ方も教えていただきました。本当によく揚がりました。



伝統的な色付けで、自分たちの「大石主税凧」を塗りました。3クラスとも少しずつ違った表情になり、空に舞い上がる姿が楽しみになりました。



学校のグラウンドで、合戦の練習をしました。スピード調整の難しさを実感しました。中之口川堤防では、心一つにして揚げられるよう頑張ります。

凧合戦本番

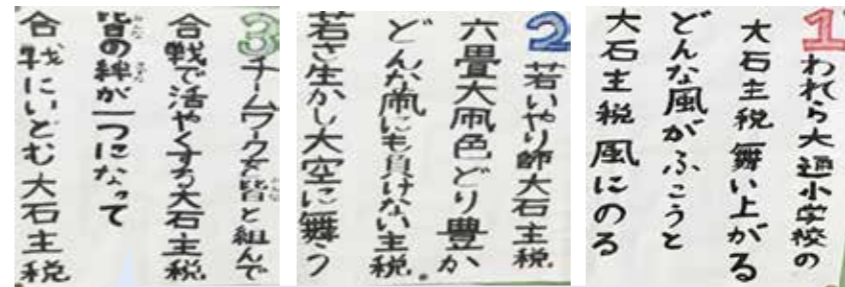


凧の骨組みで、「凧しぼり」に挑戦しました。丈夫に結べて、ほどくのは簡単にできるという便利なしぼり方は、生活でも生かせそうです。

凧名人さんからアドバイスをいただきながら、走るスピード、綱を放すタイミングを合わせ、見事大空に凧を舞い揚げることができました。「大石主税凧」を誇らしく思うと共に、他チームの凧の勇ましさ、美しさもすばらしいと思いました。

～ 白根の大凧・大通小の「大石主税」のすばらしさを知ってもらおう ～

凧作り・合戦を経験した子どもたちは、すばらしい白根の凧の伝統と自慢の凧「大石主税」をたくさんの人に知ってもらいたいと願いをもちました。幼児からお年寄り、そして地域の方々に知らせようと7つのプロジェクトを立ち上げました。



にここ市場さんの駐車場の看板に、「大石主税」凧のアピールを描きました。お客さんや8号線を通る人、多くの人に見てもらえそうです。

「大石主税」の歌を作成しました。2部合唱で歌ってアピールします。



凧に関する〇×クイズを作りました。お年寄りの方から〇×の札を上げていただき、楽しみながら凧情報をお伝えできました。

大石主税プロジェクト7



白根大凧合戦の歴史を劇にしました。白根弁での語りは、お年寄りの方に喜んでもらえました。



園児には、凧絵の福笑いに挑戦してもらい、楽しみながら凧の名前を覚えてもらいました。

～ 佐渡・イスラエル・見附の空に大石主税を揚げよう～

大通地区から、更に広く凧のことを発信するチャンスがありました。佐渡の修学旅行で、見附市で、海外はイスラエルで。私たちの「大石主税凧」は、各地の空でも色鮮やかに、そして空高くに舞い揚がってきました。



修学旅行に和凧を持参し、北沢浮遊選鉱場跡地で揚げました。相川の潮風によって高く舞い揚げることができました。

凧絵師風間さん、凧名人遠藤さんがイスラエルのティコティン日本美術館に「大石主税凧」を寄贈してきてくださいました。



「大町凧」も記念に共同作成しました。



11/8 新潟日報 記事より



同じく新潟県無形民俗文化財に指定された「見附今町・中ノ島大凧合戦」を、地域の誇りとしている今町小学校に出向き、一緒に「大石主税凧」を揚げました。この日初めて出会った私たちですが、一緒に凧揚げをすることで絆がぐんと深まりました。